

令和3年1月4日

報道機関 各位

第22回「人文知」コレギウム 「コロナ特別企画②」オンライン開催

富山大学人文学部は、学部教員による研究会「人文知」コレギウムを定期的を開催しております。「コレギウム」は「仲間たちの集い」という意味です。富山県の「人文知」の拠点として、人文研究のさらなる高みを目指して、様々な分野の教員が集い、相互に研究交流を図ります。

令和3年2月3日（水）に第22回を開催します。今回は「コロナ特別企画②」として、以下の研究発表を行います。詳細は、別添チラシをご参照ください。

なお、本研究会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のためオンラインでの開催となります。一般の方々や学生の聴講も可能です。多くの方々のご参加をお待ちしております。つきましては、取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

記

日時：令和3年2月3日(水) 13時30分～15時30分

開催：オンライン開催（Zoom） 定員290名 ※事前登録が必要です。

発表：林 夏生（国際関係論・准教授）

「感染症とセクシュアリティの二重スティグマ化—COVID-19下の韓国LGBTQコミュニティに起きたこと」

黒川光流（社会心理学、集団力学・准教授）

「新型コロナウイルスがもたらす心理」

以上

【本件に関する問い合わせ先】

富山大学 人社系総務課（人文担当）

TEL. 076-445-6131

第22回「人文知」コレギウム 「コロナ特別企画②」 2021年2月3日（水）13:30-15:30

林夏生（社会文化コース准教授）

「感染症とセクシュアリティの二重スティグマ化— COVID-19下の韓国LGBTQコミュニティに起きたこと」

積極的なCOVID-19対策を行った韓国では、2020年5月に新規感染者がほぼゼロまで減少。しかしある日、ソウル市内で集団感染が発生し、一部メディアが「感染者はゲイクラブやバーに立ち寄っていた」と報じたことで、激しいゲイ・パッシングやアウトィングを行う報道やネット書き込みが相次いだ。この危機を、韓国のLGBTQコミュニティと行政はどう乗り越え、私たちはそこから何を学べるのか。HIV/AIDS流行以来、特定の感染症とセクシュアリティがスティグマ化されてきた歴史を踏まえ、検討する。

黒川光流（心理学コース准教授）

「新型コロナウイルスがもたらす心理」

新型コロナウイルス感染拡大は、我々の生活に大きな影響を及ぼしている。その影響が長期化するにつれ、新型コロナウイルスに対する我々の態度や行動は変化してきている。一方、感染者や医療従事者に対する差別的な行為は問題となり続けている。このような、新型コロナウイルスが我々の行動や態度にもたらした影響について、心理学的に考察する。

オンラインZOOM開催（**要事前申込**）

下記URLまたはQRコードからお申し込みください。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd1b29ezL05wKerXnqn3FDhODbNGE3dn-4fBmI5qBWsE4rmq/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0&usp=mail_form_link

申込締切後、登録されたメールアドレスに
詳細をお送りします。

メールアドレスに誤りがあると案内をお送り
することができませんので、ご注意ください。
前日までに連絡がない場合は、下記総務課に
お問い合わせください。

申込締切：2021年1月31日（日）

学生・一般の方の聴講歓迎。無料。

